

文化芸術のハコ

詩人の谷川俊太郎さんは、文化芸術の拠点「いわき芸術文化交流館アリオス」を「ハコ」と表現し、文化芸術の持つ無数の可能性についてユニークに詩われています。

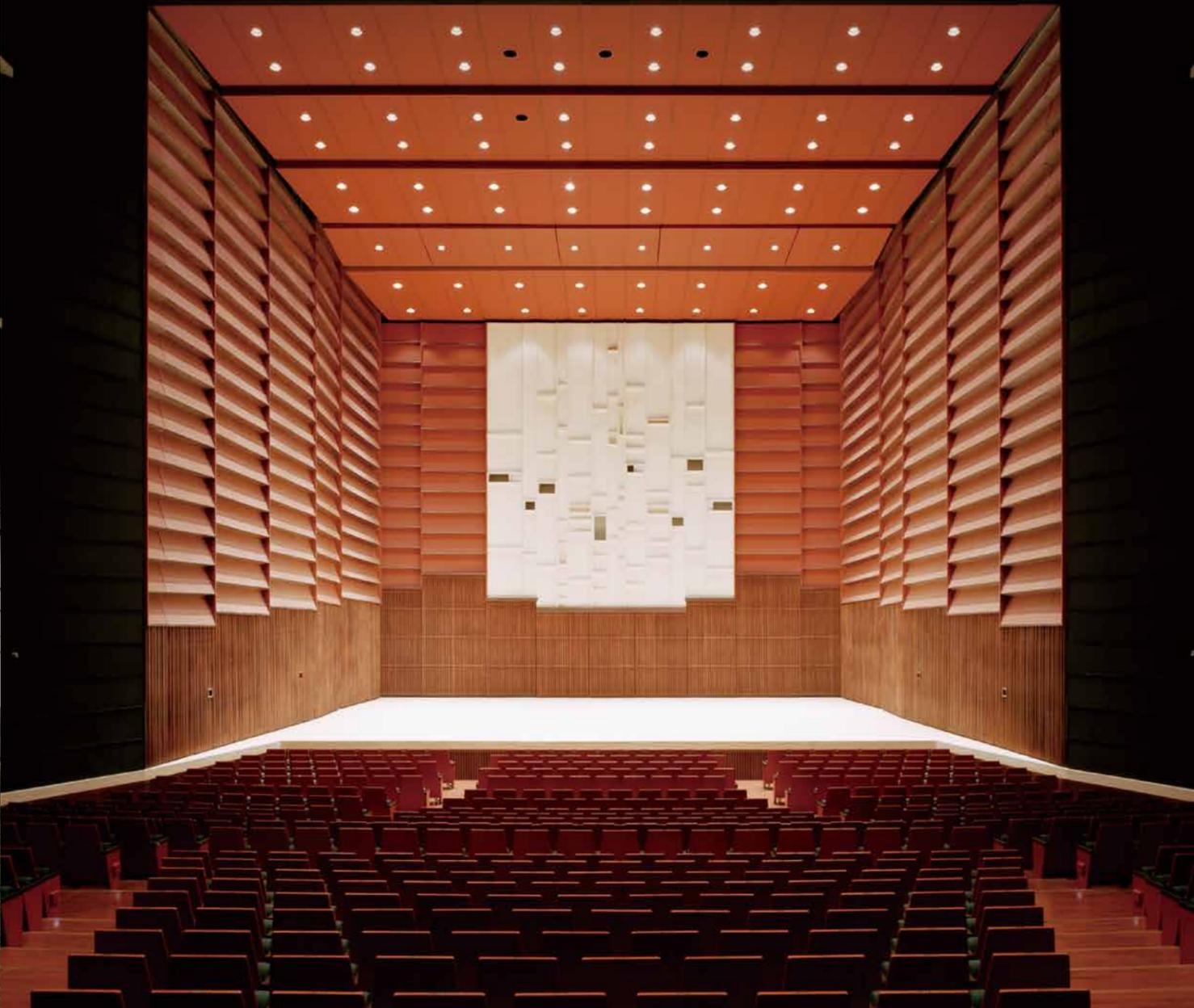
今回は、この「ハコ」の魅力と文化芸術が与えるチカラについてお届けします。

ハコのうた

谷川 俊太郎

からっぽはすばらしい
 なんでも いれることができるから
 でもいつまでも ためておかない
 またからっぽにして ハコはまつ
 あたらしいもの たのしいもの
 ハコはいきて こぎょうしている
 ハコのなかで ひとほうとう
 ハコのなかで ひととはかたる
 ハコのなかで ひとはおどる
 ハコのなかは そととはちがう
 わくわくどきどきはらはらせる
 ハコはいきて こぎょうしている

組詩「アリオスに寄せて」より



「アリオス」と「ハコ」

「ハコのうた」にあるとおり「ハコ」は『生産と創造の場』であり『感動と共感の舞台』です。

「ハコ」としてのアリオスは、文化芸術が持つ力を通じて、いわきの「まち」と「ひと」に元氣と勇氣をもたらず役割を担っています。

市民の皆さんの文化芸術に対する関心を高めるため、良質な公演をはじめ、市民参加型の多様なイベントなど、さまざまな工夫を凝らしています。

これからもアリオスは、皆さんが日々の文化活動を通じて自らの感性や知性を磨き、人々との出会いが輪となって新たな価値を生み出せる「ハコ」になること。

伝統文化から先駆的な舞台芸術まで、創造性と生命力にあふれる「ハコ」になること。
心が弾み、心が踊り、心が豊かになる、そんな「ハコ」であり続けま



▲中劇場



▲アルパイン大ホール



▲小劇場

文化芸術は創造力の源泉



いわき市長
内田 広之

国内外で、文化芸術が盛んなまちは、例外なく、産業も経済も、まちづくりも勢いに乗っています。文化芸術は、社会経済活動やまちづくりの礎となる人の創造力の源泉だからです。

皆さんは「いわき市文化協会」をご存じでしょうか。音楽、演劇、舞踊、美術、茶道、華道など、多くの分野の皆さん同士で仲良く連携し、互いの活動を敬い、分野横断で文化芸術を愛し育む活動をされています。

こうした活動は、本市ならではのものです。各分野相互の相乗効果を生み出して、まさに、本市の文化芸術力の「強み」と言えます。

文化芸術は人づくり、まちづくりの創造の源泉です。これからも、大いに力を入れていきます。



遊びから学ぶ

大人も子どもも、ごちゃませ

月に1回程度、子どもからお年寄りまで世代に関係なく集まって、子どもの遊び場をつくる「あそび工房」を実施しています。

工作をしたり、運動をしたり、レクリエーションなど、内容もさまざまです。市民の方々のアイデアから、アリオスの顔に育ちました。あらゆる世代にわたる市民の交流空間としての役割を担っています。



POINT 04

文化芸術のチカラ

魅力と活力あるまちへ

魅力と活力あるまちの形成と維持に向けては、文化芸術のチカラが必要不可欠です。

文化芸術は、エンターテインメントの枠を超えて、心を動かし、社会に働きかけ、未来を形作るチカラを持っています。



Interview

直接触れ合っほしい

市文化協会 会長
會川 和美 さん

文化協会は、市内唯一の文化団体で、音楽・演劇・舞踊・美術他315団体が加盟しており、いわき文化春祭り、市民文化祭等各種イベントの開催やその広報活動など、市と連携を図りながら文化芸術のレベル向上に努めているところです。

また、私自身は地元を中心とした民謡の普及・発展を目指していわき市民謡（うた）の会、平民謡会のそれぞれの会長として活動しています。民謡は、地域の風土、歴史、生活習慣、人々の感情などが反映された歌詞やメロディを持ち、その他地域特有の旋律、リズムがとても特徴的です。

民謡に限らず、文化芸術は、心や人生を豊かにする力があります。一人でも多くの方に直接文化芸術と触れ合う機会を作ってもらいたいです。



無限の創造性 ×

無数の可能性



▲アリオスWEBサイト

POINT 01

本物と出会う

共感が生まれる場所

良質な文化芸術を届けるため、アルパイン大ホールの音響設備は専用ホールクラスの性能と機能を備えており、空間は音響的に好ましい形状となっています。

さらに、クラシックコンサートを行う上で不可欠な舞台音響反射板も一般的に使用される水準を超える優れた仕様となっています。

また、小・中劇場は、移動観覧席の有無にあわせ、平土間にも劇場形式にも可変でき、演劇や古典芸能などにも対応できる劇場となっています。

本物と出会う「ハコ」として、皆さんの文化芸術活動の機会・場の創出を図りながら、これからもたくさんの感動と共感を生む場であり続けます。



POINT 02

おでかけアリオス

ハコを飛び出して皆さんの所へ



アリオスでは、子どもたちや地理的な事情などの理由で足を運ぶことが難しい方々を対象に、市内の小・中学校をはじめ、公民館や地域のコミュニティ施設において、コンサートやワークショップを「おでかけアリオス」として開催しています。最大の魅力は、その距離感です。通常ではお客さんとの距離があり、作者や演者の表情や呼吸まで感じることは難しいですが、おでかけアリオスでは間近で感じる事ができ、伝わってくる魅力やその価値は一層高まります。

本物の音を楽しんで♪

黒金 寛行さん (いわき市出身)

現在、NHK交響楽団に在籍し、バス・トロンボーン奏者として活動しています。本年度は同楽団いわきアンバサダーを務め、音楽の魅力を伝えるお手伝いをさせてもらっています。今は、インターネットなどで簡単に音楽を聴ける環境がありますが、できれば同じ空間で臨場感のある本物の「音」を楽しんでもらえたらうれしいです。

